

# 健康寿命延伸と経済成長牽引に関する 医薬品産業の貢献に係る研究と提言

～医薬品産業の未来に向けて～

健康寿命延伸と経済成長牽引に関する研究会

2023年3月

## 研究会発足の背景と 問題意識

- **健康で長生きすることは、多くの人々の願いである。また人々は、国全体の経済が安定的に成長し、持続可能な社会保障システムが担保され、疾病や老後への不安が解消されることも望んでいる。**
- **保健・医療・介護は、人々の健康長寿や暮らしの安心を支える根幹となるシステムである。保健・医療・介護の運営やサービス提供には、官・民を含めて多くの主体が関わっている。その中で医薬品産業は、新薬の開発などを中心に、人々の健康を守る上で大きな役割を担う基幹産業である。**
- **しかしながら、医薬品産業に対する人々の信頼度や期待がどの程度であるかは明らかでない。また、医薬品が健康寿命延伸にもたらす貢献について、人々が確かなエビデンスに基づく十分な理解を得られているとは言い難い。さらに、人々の健康寿命延伸が国全体の経済成長をどの程度もたらすかについて、これまでエビデンスは少ない。**
- **医薬品産業が今後さらに人々の信頼を得て、医薬品による健康寿命延伸、延いては経済成長牽引に貢献する可能性について人々の理解を得るためには、(i)医薬品や医薬品産業に対する人々の認知度・信頼度について現状を分析・把握すること、(ii)医薬品による健康寿命延伸に関するエビデンスを総括・提示すること、(iii)健康寿命延伸による経済成長牽引についてのエビデンスを提示すること、などが必要である。**

# 健康寿命延伸と経済成長牽引に関する研究会

健康寿命延伸と経済成長に医薬品産業がどのように貢献しているかを示すための  
エビデンス構築に向けた研究促進、医薬品産業に関する課題の  
国民的共有の進展について、客観的かつ中立的な立場から議論



**堀真奈美 先生【座長】**

東海大学 健康学部 学部長 /  
健康マネジメント学科 教授



**益山光一 先生**

東京薬科大学 薬学部 薬事関係法規研究室 教授  
元厚生労働省薬系技官



**印南一路 先生**

慶應義塾大学 総合政策学部 教授  
医療経済研究機構 副所長兼研究部長  
一般財団法人 医療経済・社会保険福祉協会



**真野俊樹 先生**

中央大学大学院 戦略経営研究科 教授  
多摩大学大学院 特任教授  
・ 日本内科学会認定専門医



**高久玲音 先生**

一橋大学 経済学研究科 准教授  
経済学部 准教授  
国際・公共政策大学院 准教授



**康永秀生 先生**

東京大学大学院 医学系研究科  
公共健康医学専攻臨床疫学・経済学 教授  
・ 日本外科学会認定医

# 健康寿命延伸と経済成長牽引に関する医薬品産業の貢献に係る研究と提言

～医薬品産業の未来に向けて～

産官学

## ① 健康寿命の延伸に向けた研究の推進

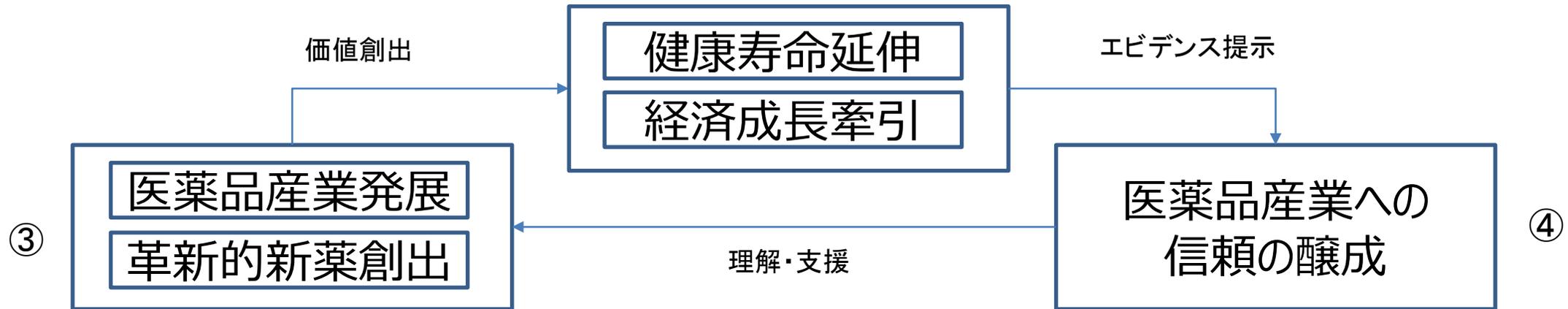
- リアルワールドデータを活用した種々の薬剤の効果比較や、医薬品の最適な選択に関する研究等、臨床試験だけでは証明しきれない健康寿命延伸に係るエビデンスを蓄積するための研究については、産官が連携し研究基盤への投資を促進し、学はその研究をさらに推進すべき。

産官学

## ② 経済成長牽引に関する研究の推進

- 医薬品等を通じて人々が健康に生きることが消費を活性化し、経済活動に貢献するというエビデンスの蓄積を行うための研究等については、産業政策推進の観点から国が主導、産学の協力を得て、研究を推進すべき。

①②



産官学

## ③ 新薬創出のためのバイオコミュニティの構築

- 日本発のシーズを育て、革新的新薬として創出し続けるためのバイオコミュニティおよびAMED等研究支援事業に対して産業界が早期からコミットできるセミクローズドなコミュニティを構築すべき。特に工学・医学・薬学・農学といった領域横断型の研究開発については、産業界が中心となり、コミュニティの構築を推進すべき。

産官学

## ④ 医薬品産業に関する知見・知識の共有

- 産業界は、医薬品産業が健康寿命延伸や経済成長牽引に寄与する点など医薬品産業に関する知見・知識を市民と共有し、医薬品産業理解向上のための施策を産官学でさらに強化することを通じて、社会保障全体への信頼感の醸成にも寄与すべき。

# 本研究会による提言と研究成果の要旨

- 「健康寿命延伸」、「経済成長牽引」にどれだけ貢献しているのかについて、リアルワールドデータ等を活用して客観的に検証、エビデンスの蓄積を続け、それを発信することで、医薬品産業、ひいては社会保障制度に対する国民の理解と信頼を醸成しつつ、日本からの新薬創出の仕組みを構築すべき。(提言)
- 医薬品産業に関する用語の認知度と医薬品産業への信頼度、医薬品産業への信頼度と医療費国民負担への考え方、それぞれの関係性を分析した。医薬品等への認知度が高いほど、医薬品産業への信頼度が高いことを示した。(報告書第1章)
- 予防ステージ×疾患毎に「研究が多く行われている領域/あまり行われていない領域」を「見える化」、現状把握をした。(報告書第2章)
- 生活習慣病やがんなどに関するリアルワールドデータ研究の成果をまとめ、一連の患者管理において、医薬品は重要な一翼を担うと示唆される点を示した。同時に、医薬品のみならず患者の疾病管理を一連の流れの中であることが重要であることが明らかになった。(報告書第3章)
- 実証分析に基づき、人々が健康になることによる経済効果を消費の観点から示した。健康寿命の延伸が、経済成長の牽引につながることを示唆される。(報告書第4章)
- 「新薬の創出」に関するエコシステム構築に向けて、日本発のシーズを新薬として創出し続けるバイオコミュニティの構築など施策の方向性を示した。(報告書第5章)